

令和 5 年度 晃宝小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

「豊かな心と健やかな体を持ち，創造的に考え，自らの向上とよりよい社会の発展を目指し，たくましく生きぬく人間」の育成を図る。

子ども像： 進んで学ぶ子 がまん強くやりぬく子 仲良く協力する子

合言葉： 晃宝っ子 やる気（知） 根気（体） 思いやり（徳）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「人間尊重の教育」を基調とし，豊かな心を持ち，知・体・徳の調和のとれた，持続可能な社会の創り手として，生涯にわたってたくましく成長し続けられる人間の育成を図る。

「地域が学校～地域に学び，地域とともに伸びる晃宝小学校」を目指し，児童・保護者・地域の想いを生かして，全職員参加型の学校経営を展開することにより，児童にとって「明日も来たくなる楽しい学校」を目指して，「学びや笑顔のある学校」「仲間のいる学校」「活力のある楽しい学校」「安心・安全の学校」の具現化を図る。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

(1)晃宝小学校の歴史と伝統を踏まえ，長年にわたって築いた教育の精神や校風を継承し，時代の変化も機敏に捉えながら，その向上と発展に努める。

(2)○学校教育における「学習活動」と「児童指導」の基盤となる学級経営を重視し，学びに向かう集団（学級）づくりをめざして，主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。また，ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習指導等により，「できた！分かった！」が実感できる「楽しい授業」を展開する。

(3)家庭・地域社会との連携強化に努めるとともに，社会の多様な要請に応じることができる，社会に開かれた学校づくりに努める。

(4)豊かな心，たくましい体を持ち，生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力を育て，学習活動を振り返ることにより自身の変容や成長に気付き自己肯定感の高い子どもを育成する。

(5)教育公務員としての使命を自覚し，和と協働の精神を大切にして，専門職にふさわしい資質・能力の向上のため学び続け，愛情と情熱と使命感にあふれ，常に児童と向き合える教職員をめざす。

(6)分掌組織の平準化，チームでの仕事分担，教職員各自のタイムマネジメント力の向上，意識改革や業務改善に取り組む等により，「学校における働き方改革」を進めていく。

【国本地域学校園教育ビジョン】

自ら学び 心豊かで 元気な国本っ子 ～地域とともにある学校をめざして～

4 教育課程編成の方針

(1)各種教育法規や県及び市の指導方針の下，本校教育目標達成のための経営方針並びに前年度学校評価の課題等を踏まえて，本校教育の特色を具現化できるように編成する。

(2)習得知識を教科横断的に既存の知識と関連付け，深く理解し，生きて働く「知識及び技能」の使い方を習得させる。その上で，未知への対応力の基礎「思考力，判断力，表現力等」，学びを人生に生かす「学びに向かう力，人間性等」を含めた「資質・能力」の育成に努める。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校運営

○ 地域社会に開かれた学校づくりを推進し，体験活動や地域の方々との豊かな関わり合いをとおして，人権感覚のある児童を育成する。

(2) 学習指導

○ 生き生きと学ぶ子どもの育成～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた I C T 機器の効果的な活用～

(3) 児童生徒指導

○ 自ら考え，判断し，自分の行動に責任をもち主体的に行動できる児童の育成

○ 挨拶，返事，そして場に応じた適切な言葉遣いを身に付ける基本的な生活習慣の育成

(4) 健康（保健安全・食育）・体力

○ 自分の健康・体力に関心を持ち，目標をもって根気強く運動や学習をする児童の育成

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標(小・中学校共通, 地域学校園共通を含む)

※「主な具体的な取組の方向性」には, A拡充 B継続 C縮小・廃止, を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は, 文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	A1 児童は, 他者と協力したり, 必要な情報を集めたりして考えるなど, 主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉	① 学習活動に課題解決型の活動を意図的に取り入れる工夫をする。自分の考えをもとに友達と話し合うなど場面を多く取り入れる。 ② 課題解決に必要な情報を集める経験を重ねるため, 図書資料や1人1台端末を利用する学習活動を取り入れていく。	B	【達成状況】 児童の回答 89.4% 達成できている。 【次年度の方針】 ・主体的・対話的な深い学びにつながる課題解決型の授業が展開できるように授業改善に努める。 ・図書資料や1人1台端末等を有効に活用できるように職員研修の充実に努める。
1- (2) 豊かな心を育む教育の推進	A2 児童は, 思いやりの心をもっている。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉	① 教育目標の合言葉「やる気 根気 思いやり」のもと, 道徳や各教科の他, 教育活動全般において, 「思いやり」の心を育む教材での指導の充実を図る。 ② 縦割り班活動 (GFT 活動) の一層の活性化により, 児童同士が互いを大切に, 認め合う態度を育む。	B	【達成状況】 児童の回答 89.8% 達成できている。 【次年度の方針】 ・引き続き, 道徳の授業や人権週間, 縦割り班等の活動を通して, 人権意識を高め, 思いやりの心を育む指導を継続していく。
	A3 児童は, 目標に向かってあきらめずに, 粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉	① 教育目標の合言葉「やる気 根気 思いやり」のもと, 目標をもって活動に取り組める場面をより多く設定し, 粘り強い取り組みによって児童が達成感を得られるように支援する。 ② 心の「たくましさ」の涵養に向け, やり抜く心や折れない心を育成する体験活動等の一層の充実を図る。	B	【達成状況】 児童の回答 83.6% 達成できている。 【次年度の方針】 ・校内で体育科ワークシートなどを共有することで, 共通の方向性で指導ができるようにする。また, 行事やその取り組みごとにめあてをもたせ, 活動後に振り返ったり, 教師が称賛したりしながら, 意欲的に活動できるように支援する。家庭と学校で連携を図りながら, 保護者と教員が一丸となり, 共通の方向性で継続指導していく。
1- (3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A4 児童は, 健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉	① 校内外での生活において, 安全に行動しようという意識を高めるよう, 様々な機会をとらえて, 発達段階に応じた指導を行う。 ② <u>保健だよりや食育だよりの発行や, 定期健康診断, 給食週間やお弁当の日の実施等を通して, 家庭の健康や食に対する意識が高まるよう啓発を行う。</u>	B	【達成状況】 児童の回答 90.9% ・十分に達成できている。児童の様子をよく観察し, 状況に応じて校庭の決まりや校内のルールを整備した。真夏には, 保健委員会の児童が中心となって, 熱中症指数とそれに合わせた適切な過ごし方の放送を行うことで, 健康や安全について児童の意識が高まった。生活習慣チェックカードやお弁当カードを通して, 食事や健康について保護者と児童の関心が高まった。 【次年度の方針】 ・廊下の歩き方など, 校内での安全な過ごし方が身に付くよう, 繰り返し指導していく。また, 各種便りや保護者との懇談においても, 児童の成長について伝え, 家庭との連携を深めていく。

<p>1-(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進</p>	<p>A5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉</p>	<p>① 学校生活の様々な場面でお互いのよさを認め合うことができるような機会を意図的に設定する。 ② グループ活動で、協力して課題解決をしていくような場面設定を工夫する。</p>	<p>【達成状況】 児童の回答 88.4% 十分達成できている。 【次年度の方針】 ・帰りの会で振り返りの場を設定し互いのよさを認め合えるような機会を充実させてく。また、ICT機器なども積極的に活用し、グループ活動で協力して課題解決していくような場を作る。</p>
<p>2-(1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進</p>	<p>A6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉</p>	<p>① 外国語活動・外国語において、英語によるコミュニケーションの場を意図的に設定し、より効果的にコミュニケーションが図れるような支援により、外国語活動の一層の充実を図る。 ② ALT との授業内容等の打ち合わせを充実させ、発達段階に応じたきめ細かな支援に生かす。</p>	<p>【達成状況】 児童の回答 81.9% 達成できている。 【次年度の方針】 ・外国語活動・外国語において、外国語指導助手と連携を図りながら、英語を使って楽しくコミュニケーションがとれるような機会を設定し、発達段階に応じたきめ細やかな支援を充実させる。</p>
	<p>A7 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉</p>	<p>① <u>生活科や社会科、総合的な学習等において、国本地区や宇都宮市について学習する機会をとらえ、その「よさ」について考える活動を意図的に設定する。</u> ② 図書やパンフレット、インターネットなどから宇都宮学に関する資料や情報を収集し、自分の住んでいる地域や宇都宮市について触れる機会を増やして、その良さについて考える活動を設定する。</p>	<p>【達成状況】 児童の回答 85.2% 達成できている。 【次年度の方針】 ・生活科や社会科、総合的な学習の時間等において、国本地区や宇都宮市について学習する機会を捉え、その「よさ」について考える活動を充実させていく。 ・宇都宮学等の資料を掲示し、児童が自分の住んでいる地域や宇都宮市の様子を知る機会を増やせるようにする。</p>
<p>2-(2) 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進</p>	<p>A8 児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉</p>	<p>① 各学習活動において、ICT機器や図書を活用することが有効な場面について、さらなる検証を行い、より効果的な活用を行うことで授業の充実を図る。</p>	<p>【達成状況】 児童の回答 89.4% 達成できている。 【次年度の方針】 ・教職員が1人1台端末や図書等の活用について、職員研修等で研鑽を深める。 ・ICT支援員や司書教諭と連携を図りながらデジタル機器や図書等を活用した授業の充実を図る。</p>
<p>2-(3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進</p>	<p>A9 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉</p>	<p>① 各教科・領域において個々のテーマについて別々に実施していた学習を、「持続可能な開発のための教育」(以下ESD)の視点で統合的に再構築する。 ② 各学習における、環境問題やエネルギー問題、国際理解、防災等にかかわる活動の場面をとらえ、日常生活と地球の課題との間につながりがあることが認識できるよう、児童に働きかけるなど、教職員がESDを意識して日々の教育活動を実践する。</p>	<p>【達成状況】 児童の回答 89.2% 達成できている。 【次年度の方針】 ・係、委員会活動や社会科や総合的な学習の時間等の授業において、「持続可能な社会」との関連を意識できるよう、教職員が児童に働きかけるなど、SDGS教育を意識しながら日々の教育活動を実践していく。</p>

<p>3- (1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進</p>	<p>A10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 〈教職員アンケート80%〉</p>	<p>① 特別な支援が必要な児童生徒一人一人が自信と意欲をもって学校生活を送れることを目指し、かがやきルーム（特別支援教室）やゆうゆう教室（通級指導教室）の効果的な活用を行う。また、関連機関との連携により、多国籍化する外国人児童等への日本語指導を充実させる。 ② 「宇都宮市学校教育における合理的配慮に係る手引き」の活用等を行い、教職員研修の充実により、教職員の指導力を向上する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1054 129 1477 163"> <tr> <td>教職員の回答</td> <td>90.6%</td> </tr> </table> <p>十分達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、担任一人が抱え込まず、組織的に対応できるよう、情報共有の場を頻繁に確保して、かがやきルームやゆうゆう教室を活用し、関係機関との連携を強化する。 ・特別支援教育に関する職員研修の充実を図る。 	教職員の回答	90.6%
教職員の回答	90.6%				
<p>3- (2) いじめ・不登校対策の充実</p>	<p>A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉</p>	<p>① 「いじめゼロ強調月間」に「いじめゼロ集会」を設け、いじめ根絶に努めるとともに、朝の会、帰りの会、道徳の時間、学級活動などを通して継続的に指導する。 ② 児童一人一人が楽しく学校生活を送ることができるよう、児童との相談週間「おはなしタイム」（年2回6月11月）を充実させる。 ③ 児童指導研修会（年3回）や特別支援委員会（年5回）の実施により、全職員による協力体制を強化し、児童が生き生きと学習や生活ができるように努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1054 542 1477 575"> <tr> <td>児童の回答</td> <td>98.1%</td> </tr> </table> <p>十分達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な集会活動等を工夫していく。 ・年2回の「おはなしタイム」だけでなく、気になる児童とは適宜教育相談を行っていく。 ・情報共有の場を活用し、全職員による協力体制を強化していく。 	児童の回答	98.1%
児童の回答	98.1%				
<p>3- (3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実</p>	<p>A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉</p>	<p>① 各学級において、日々の児童観察や、信頼関係の構築に加え、教育相談の充実を図り、児童一人一人に寄り添いながら個に応じた支援を行う。 ② ケース会議や不登校対策委員会により、不登校の予防や不登校傾向児への対応の充実を目指し、学校体制で不登校対策の強化に取り組む。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1054 1019 1477 1052"> <tr> <td>児童の回答</td> <td>97.5%</td> </tr> </table> <p>十分達成できている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、個に応じた支援や学校体制での取り組みをするとともに、保護者との信頼関係を密に構築していきけるようにする。 	児童の回答	97.5%
児童の回答	97.5%				
<p>3- (4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化</p>	<p>A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉</p>	<p>① <u>学校行事や教育活動等に児童が意欲的・主体的に取り組めるよう、一人一人が活躍できる場や、多様な人と交流できる場を設定する。</u> ② なかよしタイム（業間）やふれあいタイム（昼休み）を活用した活動を充実させ、外遊びや縦割り班活動（GFT活動）での遊びを充実させて、明るく楽しい学校をめざす。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1054 1339 1477 1373"> <tr> <td>児童の回答</td> <td>95.0%</td> </tr> </table> <p>・十分に達成できている。休み時間には、外で元気に遊んでいる児童が多く、クラスでまとまって遊んでいる様子も見られた。活動の始めに揃って挨拶をしたり、隅々まできれいに拭き掃除をしたりするなど、清掃に意欲的に取り組んでいる児童が多い。児童は、学校でみんなと過ごす大切さを実感し、日々の学校生活を仲良く楽しく過ごそうという気持ちが見られた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標や手立てなど共通理解を図り、同一步調で指導していく。児童が生き生きとした学校生活を送れるように、活動や決まりの見直しを適宜行っていく。 	児童の回答	95.0%
児童の回答	95.0%				

4- (1) 教職員の資 質・能力の 向上	A14 教職員は、分かる授業 や児童にきめ細かな指導 を行い、学力向上を図っ ている。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉	① 一人一人の学習意欲を高め、分か る喜びやできる喜びを味わえる授 業の工夫・改善に努める。 ・授業のねらいの明確化 ・学習の振り返りの工夫 ・教材開発、教材研究 ・指導法の工夫 ② 児童一人一人の学習状況に応じ たきめ細かな指導や効果的な支援 体制に努める。 ・習熟度別学習やTT, 少人数指導 ・かがやきルームの有効活用 ③ 教師が互いに授業公開をし合っ ての検討や、要請訪問等の授業研 究・研修等を通して、教職員の授業 力の向上を図る。	【達成状況】 児童の回答 97.5% 達成できている。 【次年度の方針】 ・分かる喜びが味わえる授業ができる よう、授業の工夫・改善に努める。 ・児童の実態を把握し、習熟度別学習や 少人数指導等、個別最適な指導ができ るよう効果的な支援体制を構築する。 ・教職員が一人一授業や要請訪問等 を通して積極的に授業公開したり、自主 的に研修会を開いたりするなどして、授 業力の向上を図る。
4- (2) チーム力の 向上	A15 学校に関わる職員全員 がチームとなり、協力し て業務に取り組んでい る。 【数値指標】 〈教職員アンケート80%〉	① 関係職員との協力が可能な内容 や場面を明確にし、教職員が各スタ ッフの専門性を十分に活用できる ようにする。 ② 各スタッフが参画するものにつ いて、その意義を明らかにし、教育 活動充実のために、より効果の上 がる連携を模索し、充実した学習指 導や教育活動が行えるよう工夫する。	【達成状況】 教職員の回答 90.6% 前年度より2.7ポイント上回り、数値 指標を10.6ポイント上回った。一人 で抱え込まず、チームで取り組む学 校方針が定着してきた結果である。 【次年度の方針】 ・引き続き、各スタッフの専門性を活 かせる場面の開発及び明確化と、記 録に残して引継ぎ、定着や改善工夫 を図ることができるようなサイクル づくりを推進する。
4- (3) 学校におけ る働き方改 革の推進	A16 勤務時間を意識して、 業務の効率化に取り組ん でいる。 【数値指標】 〈教職員アンケート80%〉	① 学校行事の抜本的な見直しを行 うとともに、本来学校が担うべき業 務を明確にし、学校外の諸機関や保 護者に対し、業務内容や勤務時間 についての理解を得る働きかけを行 って、業務を精選する。 ② 各種専門機関や地域等の学校支 援の充実により、教職員が児童と向 き合う時間を確保する。 ③ 時間調整を工夫し、職員間で必 要な連携を図るための、打ち合わせ 時間や作業時間等の確保に努める。	【達成状況】 教職員の回答 90.6% 数値指標を10.6ポイント上回った。 職員間で働き方を意識して業務に 取り組んだ結果である。 【次年度の方針】 ・終わりの時間を決めること、金曜 日のリフレッシュデーに取り組むこ とで、教職員個々のタイムマネジ メント力をさらに高め、業務効率化 を進める。
5- (1) 全市的な学 校運営・教 育活動の充 実	A17 学校は、「小中一貫教 育・地域学校園」の取組 を行っている。 【数値指標】 〈教職員アンケート80%〉	① 交流授業を実施する。 ② 4校の教職員が協力して、小中 学校において、一貫した保健指導 や食育指導、読書指導等の取組み を実施する。	【達成状況】 教職員の回答 87.5% 数値指標より7.5ポイント上回った。 学校園研修会や各種小中一貫事業 に取り組んだ。 【次年度の方針】 ・引き続き、開催方法を工夫して 小中連携を図るとともに、活動の 趣旨や成果を学校、地域、保護者 が共有できるよう、情報発信に努 める。
5- (2) 主体性と独 自性を生か した学校経 営の推進	A18 学校は、家庭・地域・ 企業等と連携・協力して、 教育活動や学校運営の充	① 登下校時の自治会やPTA地区 委員会の見守り、「こども110番 の家」訪問の実施など地域との連 携・	【達成状況】 児童の回答 90.0% 児童の肯定的回答割合が前年度に 比

<p>5-(3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進</p>	<p>実を図っている。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉</p>	<p>協力を推進する。 ② 学校・家庭・地域の連携を行い、<u>学習支援ボランティアによる学習支援を積極的に活用して、児童の学習活動の充実を図る。</u></p>	<p>べて1.6ポイント上回り、数値指標を10ポイント上回った。今年度も、学習支援ボランティアを活用し、地域連携に努めた。 【次年度の方針】 ・引き続き工夫して地域や企業等の教育力を活用する方法を開発し、よりよい児童の育成に取り組む。</p>
<p>6-(1) 安全で快適な学校施設整備の推進</p>	<p>A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 〈保護者アンケート80%〉</p>	<p>① 常に児童の安全に十分配慮して、校内環境の整備や維持を行う。 ② 毎月の安全点検を的確に行い、児童の安全な生活のために、迅速な補修・修繕を行う。</p>	<p>【達成状況】 保護者の回答 87.1% ・達成できている。校庭の決まりを随時見直し、安全面に配慮したルール作りをした。危険箇所や修繕箇所の報告や補修、改善の対応が迅速に行えた。駐車場を区切ったり、正門の前に立ち、車の誘導を行ったりするなど、具体的な取り組みを保護者に示すことができた。 【次年度の方針】 ・職員間での報告・連絡・相談を緻密に行い、統一された指導をしていく。細やかに連絡を取り合い、健康安全面で共通意識をもって取り組んでいく。各種便りや保護者との懇談においても、児童の成長について伝え、家庭との連携を深めていく。</p>
<p>6-(2) 学校のデジタル化推進</p>	<p>A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。 【数値指標】 〈教職員アンケート80%〉</p>	<p>① 1人1台端末を始めとするICT機器の効果的活用により、主体的・対話的で深い学びを促進する授業づくりを行う。 ② 学校業務に積極的にデジタルを使うことができるよう職員間で情報交換を活発にする。</p>	<p>【達成状況】 教職員の回答 90.6% 達成できている。 【次年度の方針】 ・情報主任・学習指導主任を中心にデジタル機器を有効に活用できる方策を職員間で活発に情報交換をする。</p>
<p>小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等</p>	<p>B1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 〈保護者アンケート80%〉</p>	<p>① 児童・保護者・地域・教職員が協力し、時と場に応じたあいさつができる習慣づくりを目指す。 ② <u>地域学校園での合同あいさつ運動を実施し、明るいあいさつが実践できるようにする。</u> ③ <u>校内での指導を継続するとともに、家庭と地域が連携して指導に当たれるよう学校からの発信を工夫する。</u></p>	<p>【達成状況】 保護者の回答 76.6% 達成できていない。 【次年度の方針】 ・委員会等で児童が主体的に取り組める活動をしていく。 ・昨年度に引き続き、校内指導と地域学校園での合同あいさつ運動を継続する。 ・学校の取り組みを学校便りやホームページで発信することで、地域や家庭への啓発をしていく。</p>
	<p>B2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉</p>	<p>① 「<u>晃宝っ子の1日</u>」をもとに、生活において守るべきルールを月生活目標として各教室に掲示する。<u>約束の内容や意義を児童・保護者・職員が共有し、共通理解のもと指導にあたる。</u> ② 生活指導当番による校内巡視や、児童指導連絡会における児童の様子についての情報共有により、児童の実態把握に努める。共通理解に基づき全校体制による指導改善を図る。</p>	<p>【達成状況】 児童の回答 91.9% 十分達成できている。 【次年度の方針】 ・昨年度に引き続き、生活指導当番による校内巡視等の取り組みを継続し、より一層の充実を図る。 ・「<u>晃宝っ子のきまり</u>」をもとに、全職員で共通理解を図り、児童指導を行う、</p>

地域連携	<p>B3 学校行事やボランティア活動等、地域の人々や保護者と児童生徒が交流する機会がある。</p> <p>【数値指標】 〈児童アンケート80%〉</p>	<p>① PTA主催行事（晃宝祭等）や地域協議会主催行事（池そうじ等）への参加促進を図る。</p> <p>② 地域の団体主催事業（チャレンジウォーク、かるた大会、たこあげ大会等）への参加促進を通じ、交流事業の充実を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1054 129 1495 165"> <tr> <td>児童の回答</td> <td>78.0%</td> </tr> </table> <p>数値指標には2ポイントほど届かなかった。今年度は、地域行事等が増えて、児童が地域の方々と共に活動する機会が増えてきた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域行事を周知する工夫をし、地域の教育力を活用する方法を開発し、特色ある教育活動の展開を図る。 	児童の回答	78.0%
児童の回答	78.0%				
家庭学習への取り組み	<p>B4 児童生徒は、自主的に家庭学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 〈児童アンケート80%〉</p>	<p>① 宿題に対してや、自主学习ノートへのコメントを通して、児童の意欲喚起を図る。</p> <p>② 「学習のきまり」などで家庭学習の目安時間などを示すことによって目標を持たせる。</p>	<p>達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1054 481 1495 517"> <tr> <td>児童の回答</td> <td>75.7%</td> </tr> </table> <p>目標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の方法を指導し、参考になる自主学习ノートを紹介するなどして、頑張っている児童を称賛することで意欲喚起を図る。また授業参観・個人懇談等で保護者への啓発を図る。 	児童の回答	75.7%
児童の回答	75.7%				
健康体力	<p>B5 児童生徒は、自主的に自分の健康には注意をして生活している。</p> <p>【数値指標】 〈児童アンケート80%〉</p>	<p>① 健康診断結果お知らせや、保健だより等により自分の健康に興味をもち、治療や日常的な運動の大切さの理解を深める。</p> <p>② なかよしタイム（業間）やふれあいタイム（昼休み）を活用した活動を充実させ、外遊びや縦割り班活動（GFT活動）での遊びを楽しむことによって体力づくりにつなげる。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1054 795 1495 831"> <tr> <td>児童の回答</td> <td>82.1%</td> </tr> </table> <p>・達成できている。保健だよりを毎月配布したり、保健室前の壁面に掲示をしたりすることで、児童の健康への興味関心を高めることができた。また、休み時間には、外で元気に遊ぶ児童の姿が多く見られた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童に自分の健康に興味を持たせ、自主的に活動できるように繰り返し指導していく。また、健康診断結果お知らせや保健だより等により、家庭との連携を深めていく。 	児童の回答	82.1%
児童の回答	82.1%				

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

・今年度は、全体アンケートの見直しが図られ、評価項目の内容や順番が変更になった。そのため、昨年との比較が単純にはできないこととなる。A17「学校は『小中一貫・地域学校園』の取り組みを行っている。」の項目で、昨年度は教職員・保護者・地域住民・児童生徒のすべての項目で向上していたが、今年度は保護者の項目で大きく下降してしまった。取り組みが認知されなかった結果であろう。また、紙ベースではなくネットからのアンケート入力となり2日目、入力に問題は見られなかった。A8「児童生徒はICT機器や図書等を学習に活用している。」の結果からも分かるように、1人1台端末の活用において、教職員の熱心な取組により本校では端末の活用が当たり前のこととなりつつあるように見える。

・学習に関しては、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けたICT機器の効果的な活用」に取り組んできたことで、学習意欲の向上が見られた。教職員・保護者・児童生徒のすべての項目で肯定的回答が9割に迫るものだった。

・毎年、課題に挙げられている「あいさつ」については、昨年度保護者と地域住民の肯定的割合が大幅に上昇したが、今年度は大幅に下がってしまった。校内では高学年を中心にあいさつや言葉使い等、身に付いてきている。今後も継続して全校体制で取組み、教職員・保護者が共通の認識に立って指導に当たり、さらに効果を上げていきたい。

・A7「宇都宮の良さを知っている」については、児童の肯定割合が昨年度よりも2.2ポイントの上昇だった。来年度も生活科や社会科、総合的な学習等において、国本地区や宇都宮市のよさについて学習する機会をとらえていく。

○今年度から地域協議会との連携事業や、地域の様々な行事が少しずつ復活してきている。今後も無理なくできる事を検討しながら、保護者・地域・学校との連携に取り組んでいく。また、読み聞かせや安全対策・学習支援などへの協力者がさらに増えるよう、継続して働きかけていく。

7 学校関係者評価

- ・コロナ・インフルエンザなどで、学級閉鎖なども有るが、出来る範囲で良くやっていると思う。
- ・もっと地域と学校がつながる機会がほしいです。
- ・声をかけても無反応の子がいる。しっかりあいさつできるようになってほしい。

などの意見を学校関係者の方々からいただきました。あいさつについては、「知らない人にはあいさつしない。」ではなく、登校、下校を見守ってくれている人は、晃宝小の子どもたちのために時間をつくってくださっている人だと認識させる必要がある。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・晃宝小学校の教育活動についての学校の取り組みに関する項目については、肯定的回答がおおむね評価指標の8割を超えた。全職員共通理解の校内体制を軸に、学校・家庭・地域が連携して取り組んでいる成果により、児童が楽しく安心して学校生活を送ることにつながっている。
 - ・教員の新たな教材研究に費やす時間が増え、さらにGIGAスクール構想による1人1台端末の活用で、児童にとって有効な結果が出ているが、そのための教員の準備に膨大な時間が費やされている。今後もさらに新たな取組みが生じる事を踏まえ、地域や外部機関等の学校支援の充実を図りながら、教職員個々のタイムマネジメント力を高め、業務効率化を進める。
 - ・いじめへの取り組みに関しては保護者の肯定的回答が8割を下回った。学校だよりで、晃宝小でもいじめがあることを伝えたことが影響したと思われる。学校として、いじめ根絶に向け、これまで以上に全職員による協力体制を強化し、児童が生き生きと学習や生活ができるように努める。ことも同時に伝えているので「学校でもきちんと向き合ってくれているのだな、というのが分かって安心できました。」と反応してくれる保護者もいた。
- あいさつについては、再び肯定的回答の割合が指標を下回った。校内での指導の成果は上がっているが、保護者や地域住民の意識が、ともに指導していくとなるように意識改革をしていく必要がある。今後は、地域学校園等の連携・協力の充実を図り、組織的に取り組んでいく。